

生命保険協会のあゆみ

生命保険協会は、わが国における生命保険業の健全な発達及び信頼性の維持を図り、もって国民生活の向上に寄与することを目的として活動してまいりました。これからも、生命保険業の発展を通じて、安心して健康に暮らすことができる社会の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

1867

慶応
3年

福沢諭吉、「西洋旅案内」で 生命保険を紹介

当時は保険という言葉がなかったため、
保険を「災難請合の事 イシュアランス」、
生命保険を「人の生涯を請合う事」と紹介しました。



福沢諭吉と「西洋旅案内」



1868

明治
元年

明治維新

1889

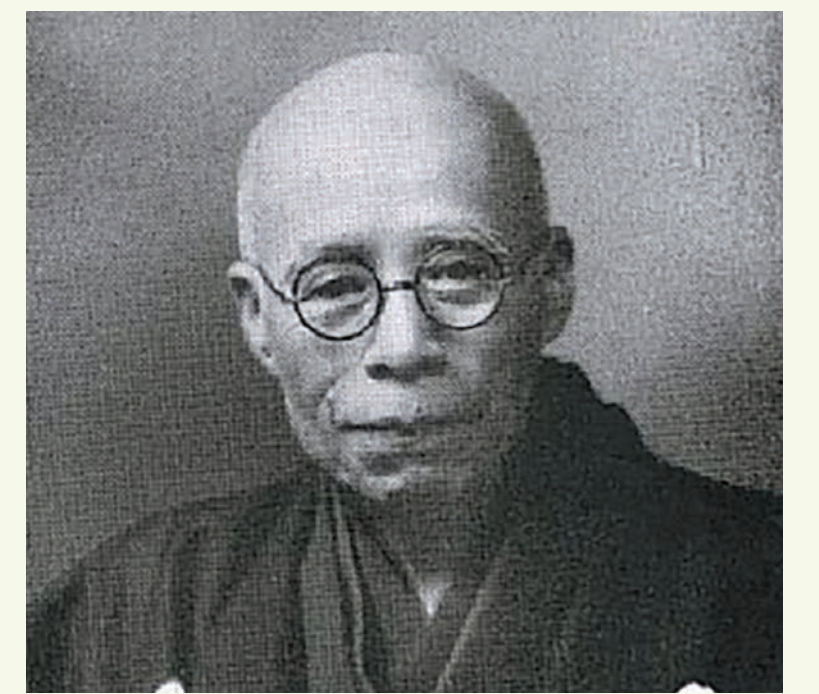
明治
22年

大日本帝国憲法発布

1900

明治
33年

保険業法公布



保険業法の起草に貢献した
農商務省初代保険課長 矢野恒太

1908

明治
41年

生命保険会社協会、 社団法人として発足

生命保険料の所得控除、保険金受取人の指定範囲拡大等を推進する中、
生命保険業の進歩を目的に発足しました。



初代会長 阿部泰蔵

1914

大正
3年

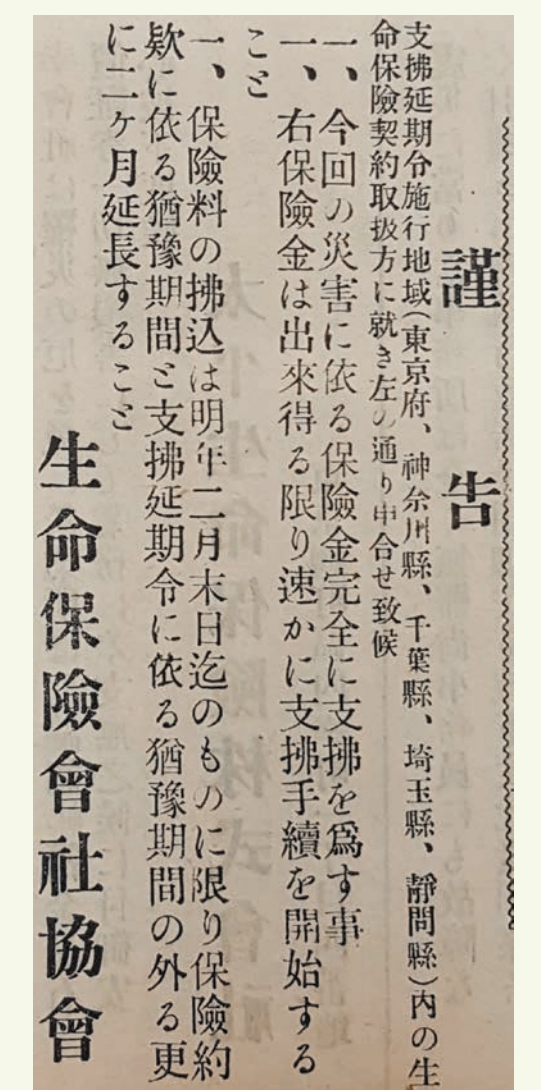
第一次世界大戦

1923

大正
12年

関東大震災、災害対策を協議

緊急協議会を開催し、保険金の速やかな支払い、
保険料払込猶予期間延長を決定しました。



保険金支払と保険料払込
猶予期間に関する記事

1924

大正
13年

生命保険料所得控除制度施行

1929

昭和
4年

世界恐慌

1963

昭和
38年

生命保険各社企業年金保険発売

公的年金を補うための任意年金制度として創設されました。
昭和41年には、厚生年金の上乗せ給付である厚生年金基金保険が
創設されました。



企業年金保険新聞広告

1966

昭和
41年

日本の総人口が1億人突破

1967

昭和
42年

生命保険協会事務所、 現在の新国際ビルに移転



旧生命保険会館

1970

昭和
45年

心身障害者扶養保険制度創設

心身障害者の保護者に万一のことがあった場合に障害者に終身年金を支給する制度です。
国・地方公共団体による制度創設に対して、生命保険業界は社会的意義に鑑み、全面協力しました。

1972

昭和
47年

沖縄返還、生命保険協会沖縄事務所を設置

1980

昭和
55年

山口県生命保険協会、 生保警察連絡協議会結成 (以後各県で結成)

生命保険を利用した犯罪の防止に向け、各地の警察との連携を
強化しました。近年では特殊詐欺防止のチラシ等を作成しています。



特殊詐欺防止チラシ

1984

昭和
59年

個人年金保険料所得控除制度施行

1986

昭和
61年

生保共同センター(LINC)稼働

契約者サービスの向上等を図るため生命保険各社間の
通信ネットワークを設立し、共同で引き受ける団体保険契約の保険料、
保険金等のデータが伝送できるようになりました。



生保共同センター開通式

1988

昭和
63年

生命保険協会、シンボルマーク発表

Life insuranceの<L>・<i>i</i>と、家族をシンボライズしたパターンを重ね合わせて、
家族のつながりを表現しています。



生命保険協会シンボルマーク

1989

平成
元年

消費税導入

1989

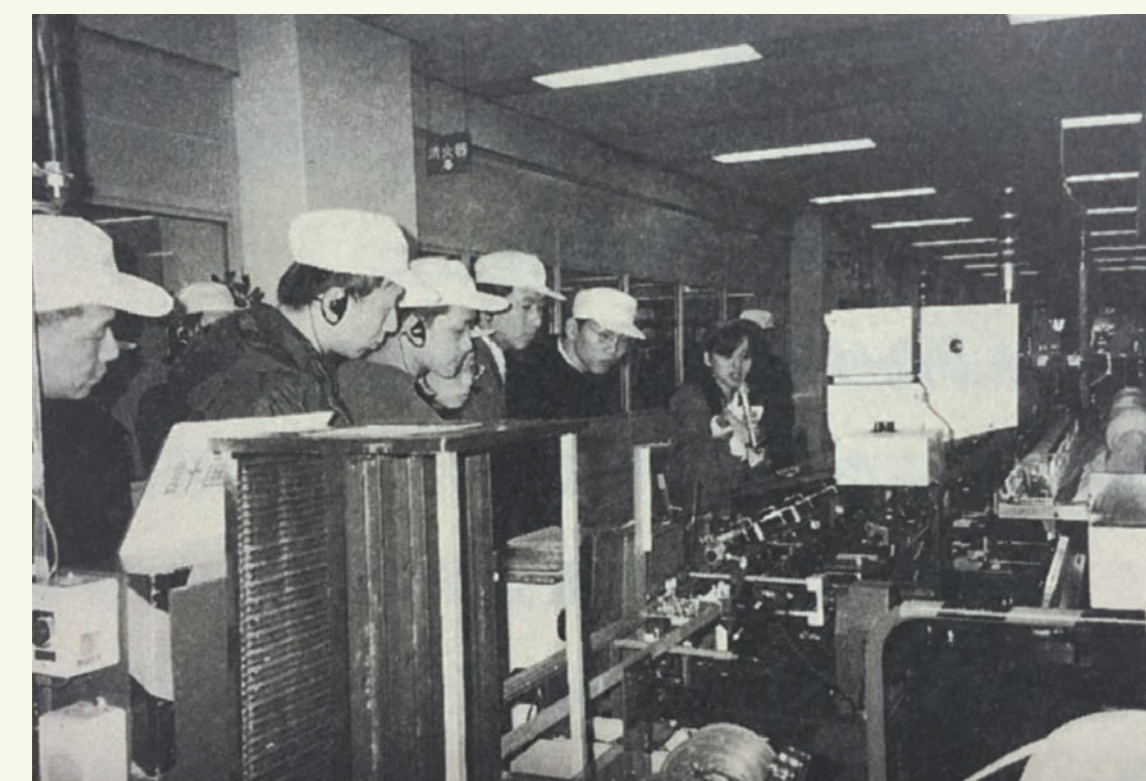
平成
元年

民間生保の総資産100兆円突破

平成20年度には総資産300兆円を突破しました。

生命保険協会外国人私費留学生奨学金制度、 介護福祉士養成給付型奨学金制度を創設

平成29年には、保育士養成給付型奨学金制度を新設しました。



外国人留学生による工場見学会

1995

平成
7年

阪神淡路大震災、 災害対策を協議

保険料の猶予期間延長、保険金支払いの簡易迅速な取扱い等の対応を行い、8,396件、484億円の保険金をお支払いしました。

1996

平成
8年

保険業法改正

「規制緩和・自由化」や「健全性の維持」、「公正な事業運営の確保」を柱として抜本的な改正が行われ、生損保の相互参入、ソルベンシー・マージン基準の導入、ディスクロージャーの規定の整備等が図られました。

1998

平成
10年

「生命保険会社の ディスクロージャー～虎の巻」刊行

保険契約者や出資者等に対し、ディスクロージャーの拡充を図り、説明責任を果たしてきました。



生命保険会社のディスクロージャー～虎の巻

生命保険契約者保護機構発足

保険契約者等の保護を図ることを目的として設立されました。

2001

平成
13年

保険業法施行規則等の一部改正

国内生損保会社の第三分野（医療保険・がん保険等）参入が可能となりました。

2007

平成
19年

「適切な保険金等の支払管理態勢の 確立のための取組み」公表

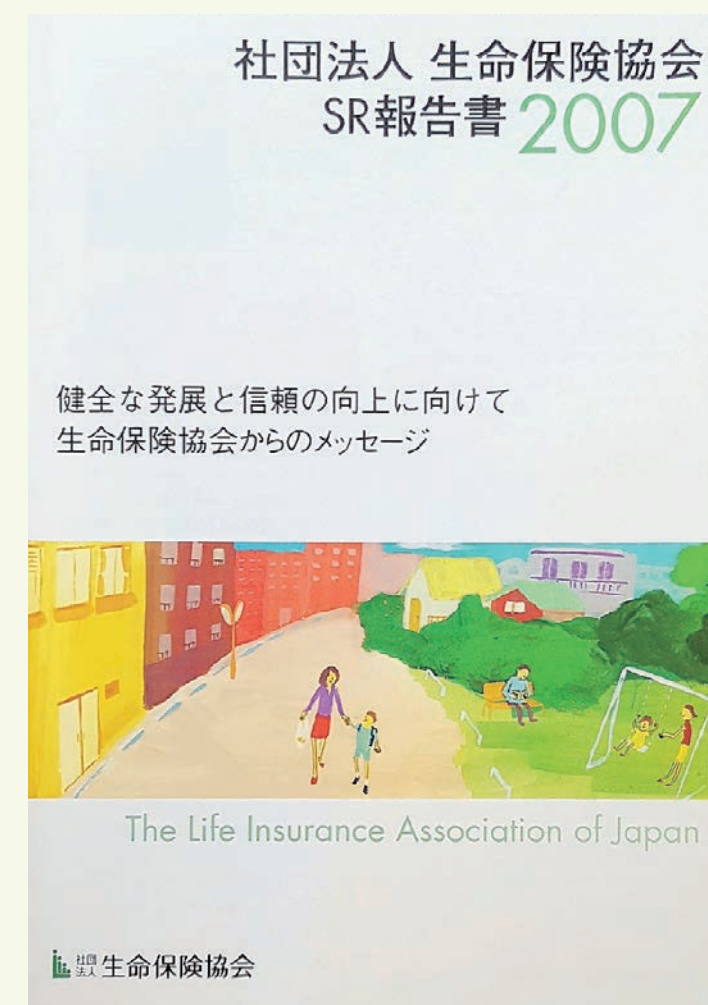
確実に保険金等をお届けする管理態勢の整備に取り組んでいます。

2007

平成
19年

「生命保険協会 SR報告書2007」発行

生命保険の役割や生命保険協会の活動等について知っていただくため、以降毎年SR報告書を発行しています。



生命保険協会 SR報告書2007

銀行等による保険募集の全面解禁

2008

平成
20年

「読み聞かせによる“家族のきずな”推進活動」の実施



読み聞かせ会の様子

保険法公布

保険契約者等保護のルール整備、共済契約への適用範囲拡大が行われました。

リーマンショック

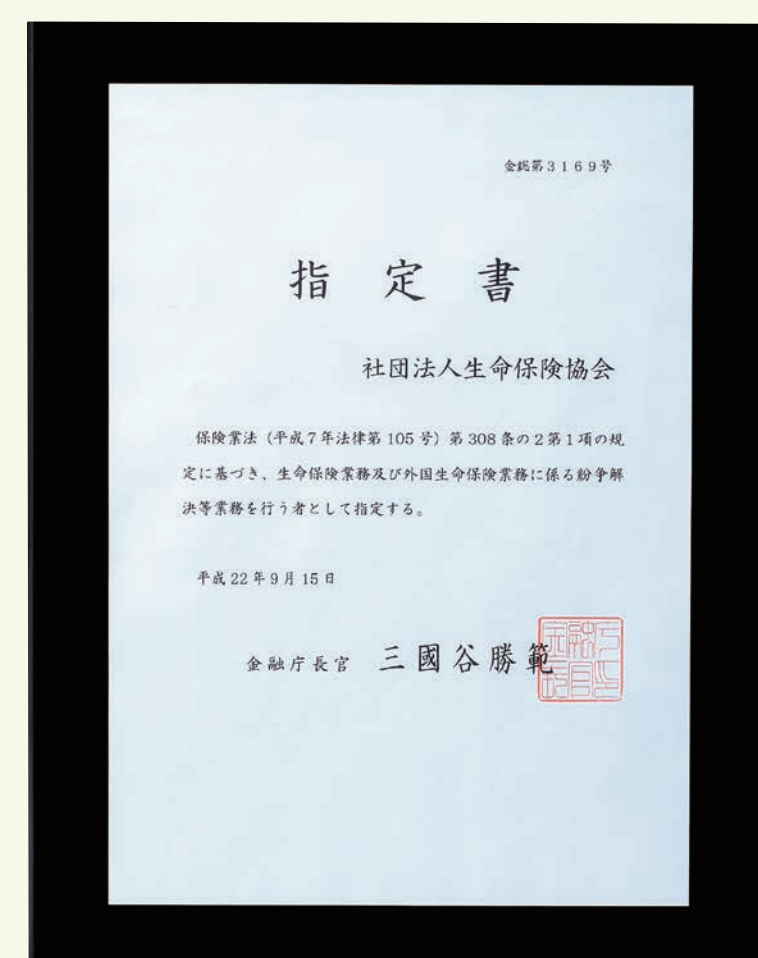
生命保険協会創立100周年

2010

平成
22年

せいほ意見交換会の設置

「生命保険意見交換会」と、生命保険文化センターの消費生活相談員向け勉強会「生命保険勉強会」を合わせて「せいほ意見交換会」と位置づけ、消費者の声の把握と情報提供の強化に努めています。



指定紛争解決機関「指定書」

指定紛争解決機関の指定取得

2011

平成
23年

東日本大震災、災害対策を協議

21,027件、1,599億円の保険金をお支払いしました。
保険契約に係る手掛かりがない方のための「災害地域生保契約照会センター」の設置等が評価され、平成24年度「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。



災害地域生保契約照会センター

2012

平成
24年

介護医療保険料所得控除制度施行

国際保険協会連盟（GFIA）への加盟を決定

2014

平成
26年

保険教育に関する 「全世代対応型パッケージ」を提供

全世代の方の生命保険・生活設計の理解促進に向け、高齢者向け情報冊子及びちびまる子ちゃんを起用したこども向け教育用DVDを発刊しました。また、社会保障・保険教育教材等の作成や教師向けポータルサイトの開設等を行っています。



子ども向け教育用DVD

一般社団法人へ移行

女性活躍推進の取組みについて公表

子育てと仕事の両立支援プロジェクトを実施し、保育所等に資金助成を行いました。

健康増進啓発プロジェクトについて公表

著名人・有識者参加の健康セミナーやウォーキング大会等を全国で実施しました。また、以降も「健康増進サポートプロジェクト」としてコンテスト等の実施に取り組んでいます。



健康増進啓発イベントの一環であるウォーキング大会の様子

2015

平成
27年

「長寿安心年金」の創設を提言

持続可能な社会保障制度の構築に向け、私的年金制度の創設を提言しました。

2016

平成
28年

マイナス金利導入

2017

平成
29年

高齢者に配慮した取組みの推進に関する提言書 「マイナンバー制度の民間利活用」を公表

平成25年には報告書「超高齢社会における生命保険サービスについて～高齢者対応の向上～」を公表しています。

2018

平成
30年

「自助の日」を創設

国民の皆さまに豊かな人生を送るためには何が必要かを考えていただくきっかけとなるよう、「5つ葉（いつつば）」の意味を込めて5月28日を「自助の日」としました。5つ葉には、希望、知恵、財運、健康、愛の meaning があります。



いつつば
5月28日は
自助の日

「自助の日」シンボルマーク